

「これからの機関紙説明懇談会」 全体協議記録

開催日：2023年8月20日 参加者：97名（途中人数変動あり）

当日のプログラム

1. 開会祈禱・オリエンテーション
2. 挨拶
3. 経過説明
4. HP「協力伝道広場」
5. 機関紙「バプテスト」sample 説明
6. 全体協議
7. 閉会の挨拶

当日のプログラムの1～5の記録ビデオを公開します。

プログラム6. 全体会議の質疑部分の記録を公開します。

尚、当日の参加者に公開の了解を取っておりませんでしたので、発言者の氏名を伏しております。

全体会議での主な質疑 （感想）（質問）（応答）（意見）

（感想）

機関紙（紙媒体）サンプルは見やすかったがA3はサイズが大きすぎて見にくかった。

サイト版、公式LINEも含め代替案を見てワクワクした。情報が届けられ全国の皆と共有できるのはうれしい。どの世代にも公平に共有できるようになるので感謝。

地方連合の情報などWeb（ウェブ）版で共有できるとうれしい

（質問）Web（ウェブ）版で情報の鍵かけの範囲、それに伴うパスワードの公開方法・変更のタイミングは？

（応答）安全性なども考慮しながら今後検討していく

（質問）Web（ウェブ）版から紙媒体の情報を受け取れますか？

（応答）安全性を考慮し鍵をかける部分もあるが、紙媒体でも見ることができることを検討しています。

（質問）公式LINE（ライン）の登録アカウントは教会ごとに登録するのですか？

（応答）公式LINE（ライン）は個人で登録していただきます。

（質問）形態の変更による財政課題・労務課題はどのように変化するのですか？

（応答）製作コストは減少しますが、無料配布・配信となり収入はなくなります。収益会計から一

般会計に変わり、協力伝道献金でこの働きを支えていくこととなります。

今後財政面について精査していきます。

労務課題は紙面の分量が縮小されるため労務はコンパクトになる予定です。

Web（ウェブ）版は各常設委員会などが担当し、諸教会参加型の方法をとるのでこちらの労務もコンパクトになることを考えています。

（質問）公式LINE（ライン）からの情報量をどのようにコントロールするのですか？

（応答）公式LINE（ライン）を使用するので、コーナーごと必要な情報を受け取ることができる仕組みがあります。

（質問）機関紙（紙媒体）を教会で印刷する際、費用がかからない方法を考えてほしい。

（応答）カラー版のほか、白黒版など、印刷費用がかからないことを検討していきます。

（質問）情報のインプットはどこでチェックするのですか？またホームページやLINEなどのプラットフォームの運用ルールはどのように考えているのですか？

（応答）ルール作成が大切であり、運用管理する委員会が必要であると考えています。最初は安全を優先した発信からスタートし、徐々に整えてくことを考えています。

（質問）『ここにバプテスト』（2010年発行）のアップデートする計画はありますか？

（応答）具体的な計画は未定です。

（質問）総会の登録、LINE（ライン）登録などは一つにまとめられないか。

主体はどこが担うのでしょうか？

（応答）総会の登録は投票にかかわるのでなりすましなどを防ぐ確実な確認が必要です。

総会と公式LINE（ライン）の登録は機能上の違いがあります。統一などは今後の検討課題とします。発信を担う委員会を立ち上げそこが主体となり、責任は理事会がもつこととなります。

（質問）公報をWeb（ウェブ）版で運用する際の連盟規約との齟齬は？

（応答）公報については機関紙（紙媒体）で対応していくこと基本とします。

Web（ウェブ）版での公報掲載に関しては連盟規約の見直しが必要となります。

（質問）メールアドレスのなりすまし対応は

（応答）公式LINE（ライン）での発信はお知らせであり、重要な発信は教会ごとの総会の登録済のアドレスのみに発信することを想定しています。

（質問）Web（ウェブ）版、LINE（ライン）、機関紙（紙媒体）、の編集はそれぞれどこが担うのですか？

(応答) Web (ウェブ) 版へのアップは各常設委員会 L I N E (ライン) の管理運営は運営委員会を新たに設置、機関紙 (紙媒体) の編集は常務理事室を想定しています。

(質問) 地方連合の情報は紙媒体に掲載されますか？

(応答) 誌面の分量から掲載を考えていません。Web (ウェブ) 版での掲載を検討していきます。

(意見)

- ・財政面での検証をさらにしてほしい
- ・実務担当者の労務が軽減されるように希望します
- ・地方連合の情報など紙媒体でも共有できないでしょうか？
- ・公報は必要な働きだから人も予算もきちんと手当をしていただきたい。

※公報・広報 (ひろば) を展開していくのであれば、コストや労務削減だけでなく、新たに増える Web (ウェブ)、LINE (ライン) などの業務についても考慮し、連盟として人材面、財政面の手当でも必要ではないでしょうか。

- ・紙媒体から QR コードで Web (ウェブ) 版に繋がるようにしてほしい
- ・紙媒体は横書きのほうが数字など読みやすい
- ・フォントを大きく行間を空けてほしい
- ・不参加の教会もあるので、情報の共有を丁寧にしてほしい

説明懇談会チャット

チャットに記載された内容を記載します。公開にあたり個人名は伏していますが、その他はチャットに上がった文章をそのまま掲載しています。

- ・web 版などセキュリティに配慮しないといけないこともあると思います。
- ・藤沢バプテスト教会ではバプテスト誌の祈りのカレンダーを週報に載せて毎日祈りの課題に記入しています。web 版になっても残してくれると嬉しいです。
- ・紙版 web 版 Line の 3 活動とも、理事会責任だと思います。直接管理しないでも正常に機能しているかチェックし、改善させる責任と権限は、理事会にしか持ちえません。
- ・鍵あり鍵なしの公開範囲の線引きなど様々なことを時間をかけて色々と話し合われたのではないかと想像します。委員の方々のお働きを覚えてお祈りしています。

- ・(議場からの事務所の仕事量に関わる) ご指摘、ご懸念は重く受け止めてほしいと願います。聞いた範囲では。作業量は減るとは考えられません。
- ・紙版は各教会の掲示板や連盟事務所の掲示板を考えると、裏表ではなく表面のみにしていただくと助かります。裏面をなかなか見ないことが多いからです。ご検討いただけたら幸いです。
- ・説明会ありがとうございました。よくわかりました。出席の方からもご意見があった通り、編集、発行、チェック、更新にかかる工程数では重すぎるように思います。担当する委員会についても、ICT委員会が立ち上がり、組織的に整い、予算の措置は必要と思います。拙速にしたほうが良いことも多いと思いますが、本件は実情に照らして間に合わない(不足する)部分があり、結局裏側は事務所が見ることになる気がします。(それならそれで、合意があれば良いかもしれませんが) 初めはライト版で簡易に考えたほうが良いかもしれません。
- ・紙版は Baptist という題名では極めて善くないと思います。なぜなら、何の紙かわからないからです。「理事会公示」等公式公示であることが分かるようにしてください。
白黒で灰色なし A4, フォントを大きくしてください。(内容が多すぎると思います)
Line は 1 日 1 件以上発信しないよう、厳密に管理していただきたい。
- ・Line を積極的に使っていないので、よくわからないのですが、知っている限りでは Line は一方的に送るのではなくて応答できるようになっているのではないかと思います。そうすると色々な意見が非常にたくさん画面上に出て、とても大変になる気がします。
- ・委員会の方々や連盟事務所の方々の負担が荷重にならないように、小さく生んで大きく育てるほうが良いのではと思いました。また、少額でも利用費を支払うことで参加意識を高めること及び担当される方々への感謝を示すこともあっていいのではと感じました。
- ・限られた時間で今日の会をここまで準備された委員の方々のお働きを感謝します。労務削減はぜひ具体的に検討がなされ実行されることを願います。
- ・ボランティアでしてくださっている委員会の方々や連盟職員の方々に負担になりすぎないように願っています。